

熊野神社 横浜市青葉区寺家町 880

創建は不明であるが、武蔵風土記には九尺二間の社（熊野社）が和歌山県熊野本宮を勧請し、寺家村熊野谷にあると記録されている。当地では昔から御熊様と言われ、口伝により何時の時代か火災によりここに移転されたと伝えられている。この度罹災した社は、慶應 3 年に当地大工野路文之丞により建立されたと棟札により判明する。明治 43 年に山王社、金比羅社、伊勢神社、神明神社を合祀、大正 10 年神饌幣帛料供進社に指定されています。その後大正 14 年に当地大工荻原七之助により拝殿・浜縁を増築し、社殿が完成、昭和 45 年に屋根を茅葺きより銅板葺きに改築する。今回の再建には旧社殿の復元をする趣旨で建設をする（境内石碑より）。神奈川の銘木に指定されている縦木 2 本が歴史を感じる。



遠くに山の麓に鳥居が目立つ



急な階段の参道



登りきると社殿が



社殿の奥は何もない



銘木の縦木



境内説明碑